

アラカルト

宮城県中小企業組合士会副会長
宮城県印刷工業組合



似鳥みち子さん
Nitatori Michiko

理想は生涯現役！

●モットーは「常に勉強、常に笑顔」

来年で60周年を迎える宮城県印刷工業組合に私が入職したのは平成2年。右も左もわからないまま業界に入り無我夢中で自分と闘いながら、「常に勉強、常に笑顔」の精神で現在に至っている。

専務理事（組合士）を筆頭とした3名の事務局では、宮城県下の107社が加入する組合の運営にあたっている。教育セミナー・資格取得講習会・技能検定の開催等各種業務のほか、東北地区印刷協議会事務局も兼務しているので、東北6県工組の地区協議会の運営や、年に1度大々的に開催される「SOPTEC とうほく印刷機材展」および未来のクリエイターの足掛かりになる「デザイングランプリ TOHOKU」にも携る。また新春賀詞交歓会、ビアパーティー・親睦ゴルフ大会等親睦事業等も行っているため、オールラウンドプレーヤーで日々挑んでいる。

●目標は「生涯現役」

私が組合士の資格を取得したのは、平成8年。故 江馬理事長（宮城県中央会元副会長）に「宮城県では女性の組合士が不在だ。ぜひ勉強

して中小企業を支えて欲しい！」とのお言葉を頂戴し、まだ幼い子供を抱えながら、合格を目指した。「組合運営」・「組合制度」はテープに吹き込み通勤の車内で何度繰り返し聴いたことか。朝な夕なに勉強に勤しんだ。ただ、「組合会計」は簿記の全商1級・日商2級の資格を持っていたので、ある程度理解できたことはラッキーだった。宮城県中央会の講習会でも解らないことは積極的に聞き、見事合格。お陰様で現在の仕事に役立っていること、資格手当を頂戴していることに大変感謝している。優良組合士表彰・協会運営功労者表彰もいただき、昨年12月からは宮城県中小企業組合士会の副会長を務めさせていただいている。体調管理をしながら身体の続く限り、公私共々『生涯現役を理想』とし、お世話になった皆様へ恩返しをしたいと思っている。

●若い世代に期待する！

今の世の中は資格の時代！ 資格取得は自己研鑽のために必要不可欠ではあるが、組合に携わる者として、若い方々には、ぜひ組合士資格取得に挑戦し仕事に役立たせ、自分自身の生き甲斐を見出してほしいと思っている。

平成23年3月11日の東日本大震災では、津波等により東北3県は甚大な被害を蒙り、当組合員事業所も20社が被害に遭われた。約2万名の尊い命が犠牲になり、今年で丸4年経過したが未だ海岸の方面では復興の兆しも見えず、傷が癒されていない状況にある。今だから平静でお話しできるが、あの時はこの世の終わりと思ったほどであった。大震災の引き金か、所々で天変地異が起きているが、東日本大震災で被災した皆は、全国各地からの応援・支援に感謝しながら、一生懸命今日を、そして明日に向けて生き抜き頑張っている。

今を大切に生きなければ明日が来ない。若い方々にはこれからの日本を守り生き抜いてほしいと期待してやまない今日この頃である。